

ニホンカナヘビ

約20~25cmほどのサイズになりますが尾を含めない体の大きさは6~7cmほどの小型のトカゲです。体色は褐色で黒い帯状の斑紋があり、腹部は白色又は淡黄色となります。幼体から成体へと成長しても体色の基本的な変化はありません。



ニホントカゲ

体長約20cmで、幼体の体色は黒や暗褐色で5本の縦縞入り、オスの成体は褐色で、体の側面に茶褐色の太い縦縞入りです。繁殖期のオスは側頭部から喉、腹部が赤みを帯びます。メスは黒の帯状の斑紋があり、腹部は白または淡黄色と幼体の色彩を残したまま成熟することが多いです。幼体も成体も尾はきれいな青色です。



入手方法

ペットショップや爬虫類専門店でも入手は可能ですが、近所に大きな公園や、少し郊外に田畑のある開けた所に行く機会があれば、十分に採集が可能です。



採集方法

手 非常に素早い生き物で無理に捕まえると尾を自切してしまいます。慣れていないとなかなか難しいのですが、午前中の早い時間で、生体の体温が上昇する前の動きが鈍い時間帯であれば、日光浴に出てきて体を温めている所を素早く捕まえることができます。頭から胴体部分にかけて掴むように手を伸ばしましょう。

罠 空いたペットボトルなどで魚を捕獲するとき使用する瓶どうのような簡易的な罠を作ります。(カッターなどを使うので大人の方と一緒に作りましょう。)中に入れるおびき出し用のエサは周辺で採れたクモ類や昆虫類の子供、ワラジムシなどが良いでしょう。駆行性なので朝に罠を仕掛けて夕刻には回収するとよいでしょう。

釣り 釣りざおの穂先や木の枝・竹の先端等の先に糸やテグスをつけて、糸の先端に子供のパックやワラジムシ、市販のミールワーム等をくくりつけ、日光浴中のトカゲに近づき、鼻先にそっと落としてみよう。かなりの確率で簡単に吊り上げることが出来ます。ただし、幼体の場合、一度啜っても簡単にはなってしまう事が多いので虫とりアミなどを使って受けてあげてください。

※比較的容易に採集が可能ですが、飼育できる数以上は決して採集しないようにしてください。



生き物を触った後は必ず手を洗いましょう。

ペットは最後まで責任を持って飼育しましょう。

EXO TERRA専用ホームページ

www.gex-fp.co.jp/exoterra 充実の動画コンテンツ!



このやさしさを人と社会へ
ジェックス株式会社



カナヘビ/ ニホントカゲの飼い方

カナヘビとは

庭先や公園、雑木林周辺はもちろん、都会でも道路わきの石垣や小さな空き地などで目にする事の出来る“ニホンヤモリ”と共に最も身近な爬虫類です。種類名“カナヘビ”にはあたかもヘビの仲間を思わせるように「ヘビ」という名称が与えられていますが、真正正銘のトカゲの仲間です(可愛いヘビ・金色のヘビ等諸説あり)。

和名：ニホンカナヘビ
英名：Japanese grass lizard
学名：Takydromus tachydromoides
分布：日本全土に広く分布(日本固有種)
全長：約 20~25cm
寿命：約 5~7年

ニホントカゲとは

カナヘビに次いで庭先や公園、雑木林の近くなどでよく見かける爬虫類です。逃げる時に尾を切って逃げるので、捕まえたと思ったら尻尾しかなかった。という事も。切れた尻尾は再生しますが、元のサイズや色目とは違う様相になることが多いです。ニホントカゲは北海道から九州まで、日本に分布する日本固有のスキンク科爬虫類です。

和名：ニホントカゲ
学名：Plestiodon japonicus
分布：日本
全長：約 15~23cm
寿命：約 5~6年



EXO-TERRA商品
こちらから

カナヘビ/ニホントカゲの飼い方

フード

昆虫食性なので、ふやかしたレオパブレンドフードを口に合わせたサイズにして与えることができます。活餌(コオロギやミルワーム、ワラジムシなど)を与える場合は口に入るサイズの昆虫を与えてください。カルシウムは成長期や繁殖期には毎日、昆虫にまぶしたりして与えてください。カルシウム+ビタミンD3を月1~2回を目安に与えてください。



レオパブレンドフード セーフティピンセット
バンパー

コオロギ
カルシウム+
ビタミンD3

水飲み皿

ひっくり返しにくい安定したお皿がオススメ。水の中に入ったりしてる場合もあるので、毎日新しい新鮮な水をいれてあげましょう。霧吹きでケージのガラス面に水滴をかけて、水分補給することも可能です。



ウォーター
ディッシュ
ミスター

床材

掃除しやすく、フンも見えやすいものがおすすめです。フンなどの排泄物は毎日取り除き、キレイに保ってあげましょう。また、定期的に床材は交換して清潔な環境を保ってあげることも必要です。



テラリウムソイル
デザートソイル

ケージ

お手入れ、お世話がしやすい前扉・ガラス製のケージが便利です。そんなに大きなケージは必要ありませんが、動き回れるように幅30cm以上あるケージを用意してあげるとのびのびと動く姿を観察することができます。



ガラステラリウム3030



レプテリアブラック300Low



<ディスプレイ例>カナヘビ
ガラステラリウム3030
(幅30cmタイプ)



<ディスプレイ例>ニホントカゲ
レプテリアブラック300Low

シェルター

ケージ内に寒暖差を作ったり、隠れ家として。クールダウンしたり、ストレスから身を守るためにもシェルターは不可欠です。



レプティルケイブ
モイストシェルター
コーナー



イージー
グローサーモ



ヒーティング
トップ



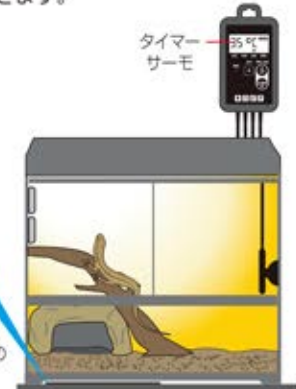
上部から暖められる
ヒーティングト
ップを使用すると
ケージ内をさらに
効率よく暖められ
ます。



レプティルヒート



※パネルタイプヒーターは白熱球の
設置例に設置してください。



タイマー
サーモ

照明・ライティング

自然界では日光浴をすることによって紫外線(UVB)を浴びてビタミンD3を合成して骨格を形成しています。飼育下でも紫外線(UVB)が照射できる蛍光灯を設置しましょう。照明で1日の周期を再現してあげましょう。



コンパクト
トップ30



レプティル
UVB100

紫外線ランプ照射器具: コンパクトトップ
紫外線ランプ: レプティルUVB100

温度管理

快適な環境が作れているか定期的にチェックするために、温度計や湿度計を設置することをオススメします。



アナログ
温度計
アナログ
湿度計

コードレス
デジタル湿度計

デジタル湿度計※メモリー機能付

設定温度・湿度

日中 25~32℃を目安に
夜間 15~25℃を目安に
湿度 60~70%を目安に

ケージ内全体が暑くなりすぎないように温度が低い場所を作ってください。

ヒーター

パネルタイプのヒーターをケージの底に設置してください。ケージの1/3~1/2サイズの物を用意してください。タイマーサーモを使用すれば、昼夜の2段階温度管理ができて便利です。ヒーターを設置して、上記温度を保ってあげると、冬場も元気に動く姿を観察することができます。